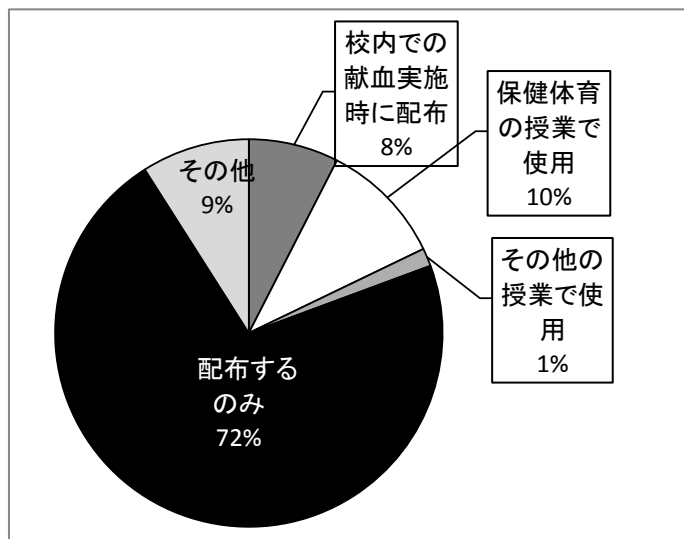


平成24年度「けんけつ HOP STEP JUMP」アンケート調査結果

【調査の基礎情報】

- ・調査の方法：全国の高等学校へ資料を配布する際にアンケート用紙を同封し、資料活用後にアンケートへの回答を依頼した。
- ・調査学校数：6,236校
- ・回答数：532校
- ・回答率：10.1%

1. この資料をどのように利用されていますか。

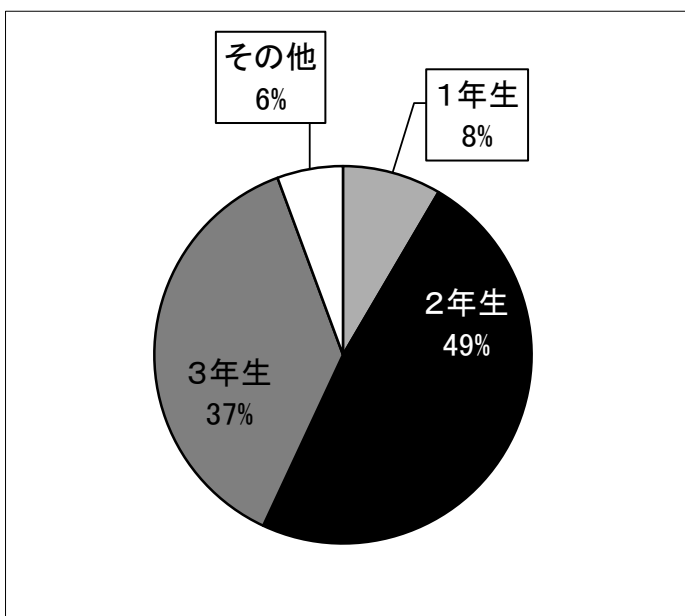


【その他の授業で使用(内訳)】
理科/自習/総合

【その他(内訳)】

SHRまたはLHRで配布・担任から指導/
献血の呼び掛け・事前学習時に使用
始業式に配布/保健室に設置/集会
保健指導の資料に使用/興味関心のある生徒に配布/
保健指導の資料に使用/興味関心のある生徒に配布/
講演(献血セミナー等)時に配布

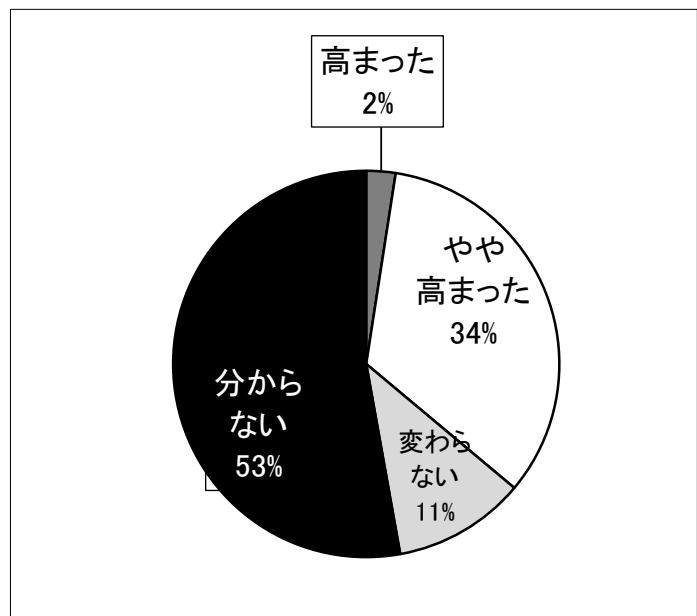
2. 本資料を何年生に配布しましたか。



【その他(内訳)】

全学年(各クラスに数冊・全生徒へ配布)/希望者/
保健室・図書室で保管/配布していない/

3. 本資料によって、生徒の献血への関心に変化はありましたか。



4. 本資料の内容について生徒の献血への関心を高めるためのアイデアや改善すべき点

※特別支援学校の意見は、☆表記。

【北海道】

・生徒用の献血をする時の注意点は詳しく書いてあってもよいかと思います。

【岩手県】

・難しい内容でもマンガになっていると読むので、マンガのページを増やすのではどうでしょうか。

・ページ数をもう少し減らして良いかと思います。

【宮城県】

・献血者数が減っている数を見せるより、献血血液がどう使われ、どう配分されているかの資料があれば保健の授業で活用できるので

【秋田県】

・献血を希望する生徒は家族も献血に関心が高いようなので、家族(大人)への普及啓発も大切だと思います。

・情報量を少なくしてポスター等に変えたほうがよいのではと思います。

☆ 献血車の巡回案内のお知らせをして体験させるのはどうでしょうか。

【山形県】

・一度、献血をすると毎年するようになります。献血に触れ合う機会を増やすべきです。

【福島県】

・資料で高校での献血に関する具体的な活動にもふれて頂くと幸いです。

・各地域毎の献血場所・日時が記載されるといいと思います。

・冊子を開かせるための工夫として、表紙にメッセージや課題があってもいいのではないのでしょうか。

【茨城県】

・活字が多いと興味のある部分以外は読まないなので、イラスト等を多くした方がよいと思われます。

・高校生向けのポスターを作成して頂きたいです。

・保健室内に献血に関して学べるコーナーを設置するなどいかがでしょうか。

・冊子にするととっつきにくい生徒もいましたので、もう少し簡素なものがあってもよいと思います。

・冊子だけでなく、掲示用のポスターがあったほうが良いと思います。

【栃木県】

・献血への理解と関心を高めるため、この資料を小・中学生に配布するのはどうでしょうか。

【埼玉県】

・リーフレットのような簡易なものにしていただきたい。

【千葉県】

・キャンペーン時期に同時に配布したり、グッズと一緒に配布したりすると関心を持つのではないのでしょうか。

・中高生に人気のあるタレント等の起用はどうでしょうか。

【東京都】

- ・デザインが10代向きではないと思います。(けんけつちゃんは10代には受けないのでは?)
- ・都立高校で実施している教科「奉仕」の事前学習に講師派遣をしたり、生徒を献血ルーム運営補助等に從事させるのはいかがでしょう
- ・HP等の動画コンテンツとのリンクがあるとよいと思います。
- ・現状の血液量のデータがあれば、不足分等がわかりやすいと思います。
- ・何かもらえるという企画があれば生徒は反応すると思います。
- ・もっと具体的な事例を記載したほうがよいのではないのでしょうか。
- ・採血ルームの地図を載せるのはどうでしょうか。
- ・最近の生徒は物を読まないで、携帯電話等でのお知らせをする方がよいのではと思います。

【神奈川県】

- ☆・ふりがなをふって頂きたいです。
- ・ミニコラムや基礎知識がポスターになっているとよいかと思います。
- ・見返りがあると献血の関心が高まると思います。
- ・若い芸能人を使用した啓発活動や、冊子があるとよいかと思います。
- ・採血ルームで献血した若者の写真、コメントを掲載すると親近感が持てるのではないのでしょうか。

【新潟県】

- ・web等を利用した広報活動がより効果的と考えます。
- ・献血体験談等を知る機会がもっと増えるとよいと思います。
- ・アイドル・タレント等を登場させる。また、同年代の高校生が感想まじえながら献血の手順を紹介するなどはどうでしょうか。

【富山県】

- ・献血の大切さを伝えるDVDの作成。

【長野県】

- ・スマートフォン用アプリの開発など、高校生が好きそうなツールを利用すべきではないでしょうか。
- ・講演や視聴覚機器(DVD等)を使用した方が効果的だと思います。

【岐阜県】

- ・献血を体験した高校生の声載せてあると生徒の関心がさらに高まると考えます。

【静岡県】

- ・ページ数や、情報量が多く真剣に読んでくれるか疑問です。
- ・献血を受けた人の声(痛くないとか我慢できるなど)を入れると、生徒も安心するのではないのでしょうか。
- ☆・特別支援学校の生徒には内容が少し難しいと思います。

【愛知県】

- ・TVCMを行うのはいかがでしょう。
- ・アンパンマンのエキスをダウンロードして見せたところ献血者が1.5倍になった。このような教材のほうがよいのではないのでしょうか。
- ・貧血等の子ども達が増えているため、そのような資料もあると活用できると思います。

【三重県】

- ・200mL献血であればできると考える生徒が多いので200mL献血も推進すべきではないでしょうか。
- ・冊子よりもDVD(字幕入り)の方が理解されやすいのではないのでしょうか。

【滋賀県】

- ・学校近隣にある献血ルームについての案内などの情報を学校に頂けるとありがたいです。

【大阪府】

- ・テレビやラジオを使用したほうがよいのではと思います。
- ・献血した血液がどのように使用されているのか詳しい資料があればいいと思います。
- ・医療現場の詳しい実態を教えて頂ければ、職業選択とあわせて関心が高まると思います。

【兵庫県】

- ・献血がボランティア活動として大学受験のポイントになれば関心を持つかもしれません。
- ・冊子よりも1枚の両面カラー印刷のほうが目に付きやすいです。

【和歌山】

- ・DVD等の視聴覚教材としての配布があればいいと思います。

【島根県】

- ・折りたたみのパンフレットくらいが良いのではないのでしょうか。ページ数が多くて生徒は読んでないような気がします。

【岡山県】

- ・4コマ漫画の様なものを入れるといいと思います。

【香川県】

- ☆ ・知的障害のある生徒には内容が難しいと思います。

【徳島県】

- ・生徒向け冊子は、もう少し量を減らしてダイジェスト版にしても良いのではと思います。
- ・冊子ではなく、リーフレットにポイントを上手くまとめて方が生徒が見やすいと思います。

【愛媛県】

- ・もう少し小さいサイズ(ポケットサイズ)であるとよいのではと思います。
- ・高校生が献血している写真が載っていると、より身近に感じられると思います。

【熊本県】

- ・高校生に人気のあるアイドルたちが献血している様子などを動画配信するのはどうでしょうか。
- ☆ ・特別支援学校の生徒にとっては少し内容が難しい点もあるかと思います。
- ・説明DVDがあれば、さらに理解を深めることができます。
- ・献血の謝礼が魅力的であったら、自然と関心が高まるのではないかとおもいます。
- ・同年代の子たちのインタビューや有名人の起用(献血体験)があると生徒は熱心に読みます。

【大分県】

- ・高校生向けには、キャラクターやマンガなど内容が幼い気がします。

【宮崎県】

☆・教職員への呼びかけも一緒にできるとよいと思います。意識の高い教員は、伝えることもうまいと思います。

【鹿児島県】

・冊子ではなく、チラシ(両面)でもよいのではないのでしょうか。

☆・文章を読んで理解するのが難しいので、短い文でイラスト付きでわかりやすい方がありがたいです。

【沖縄県】

☆・内容が難しいです。